

令和六年度冬季鎌倉俳句&ハイク

期間 令和六年十一月一日〜令和七年一月末

選者 星野椿 星野高士

投句数 八八五句

特選三句

天

冬木立透けておもはぬ方に海

神奈川県横浜市 小泉 明彦

地 竹寺に冬至の夕日沈みけり

神奈川県藤沢市 武 正義

人

譲り合ふ席は江ノ電冬うらら

神奈川県逗子市 小林 洋子

入選句

一般の部(三十句)

一輪の冬紫陽花に歩を停める

神奈川県相模原市 荒井 篤

肅々と励む写経や寒牡丹

大阪府豊中市 安藤 知明

団子屋に並ぶ勤労感謝の日

東京都文京区 遠藤 玲奈

紙切れに記す俳句を雪が見る

神奈川県横浜市 加藤 文男

ふたつみつこぶし握りて冬木の芽

神奈川県横浜市 木下 明浩

春待ちて口元緩む六地藏

神奈川県大和市 小林 心

大仏のうつむく肩に寒の雨

神奈川県横浜市 佐藤 満

左義長や巳年八度目ありがたや

神奈川県鎌倉市 千石 正子

郷愁や遠く聞こえる歌留多かな

東京都文京区 曾我 友哉

虚子の墓五輪堂にも紅葉散る

神奈川県横浜市 田阪 武夫

冬紅葉あまた舞散り空青し

熊本県熊本市 田仲 恒介

おびんづる様もいたたく初明り

東京都足立区 田中 正博

八幡の木々ざわめきて銀杏散る

静岡県静岡市 中島 朋美

大仏に礼を伝えるクリスマス

神奈川県川崎市 日向 梓

良き松の守る境内弓始

埼玉県狭山市 古谷 多賀子

千両万両駅へと抜くるおんめさま

神奈川県横浜市 正谷 民夫

冬帽子お地藏様のお気に入り

神奈川県横浜市 町屋 朝子

着膨れて駅のベンチに見ゆる海

神奈川県茅ヶ崎市 宮永 武彦

豆腐には八つの角や雪催ひ

東京都足立区 山崎 勝久

六地藏皆んな仲良く年を越そ

神奈川県横浜市 山下 重弥

子どもの部(十句)

とんびたち冬の紅葉とたわむれる

神奈川県横浜市 小野里 美織

夜ふかしでまどごしにみた冬北斗

神奈川県鎌倉市 片野 一橋

しずくから生まれる雪の欠片たち

神奈川県鎌倉市 中山 拓真

冬の朝リビングにあるプレゼント

神奈川県鎌倉市 細野 龍一

兄いると年の差気付くお年玉

神奈川県鎌倉市 緑 恋々栞

こがらしの佐助いなりの帰り道

東京都世田谷区 梅原 權

鳩群れる八幡宮でひなたぼこ

東京都世田谷区 柏木 美濤

寿福寺や参道に吹く冬の風

東京都世田谷区 亀山 澄

青天で早咲きの梅手をかざす

東京都世田谷区 佐野 今日汰

冬眠中 佐助稲荷の孤かな

東京都世田谷区 鈴木 紗生

(順不同)



鎌倉の四季折々を十七文字に・・・

鎌倉俳句&ハイク実行委員会

<https://www.kamakura-haiku.com/>

<事務局>

公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団内

〒247-0056 鎌倉市大船 6-1-2

TEL 0467(30)9237